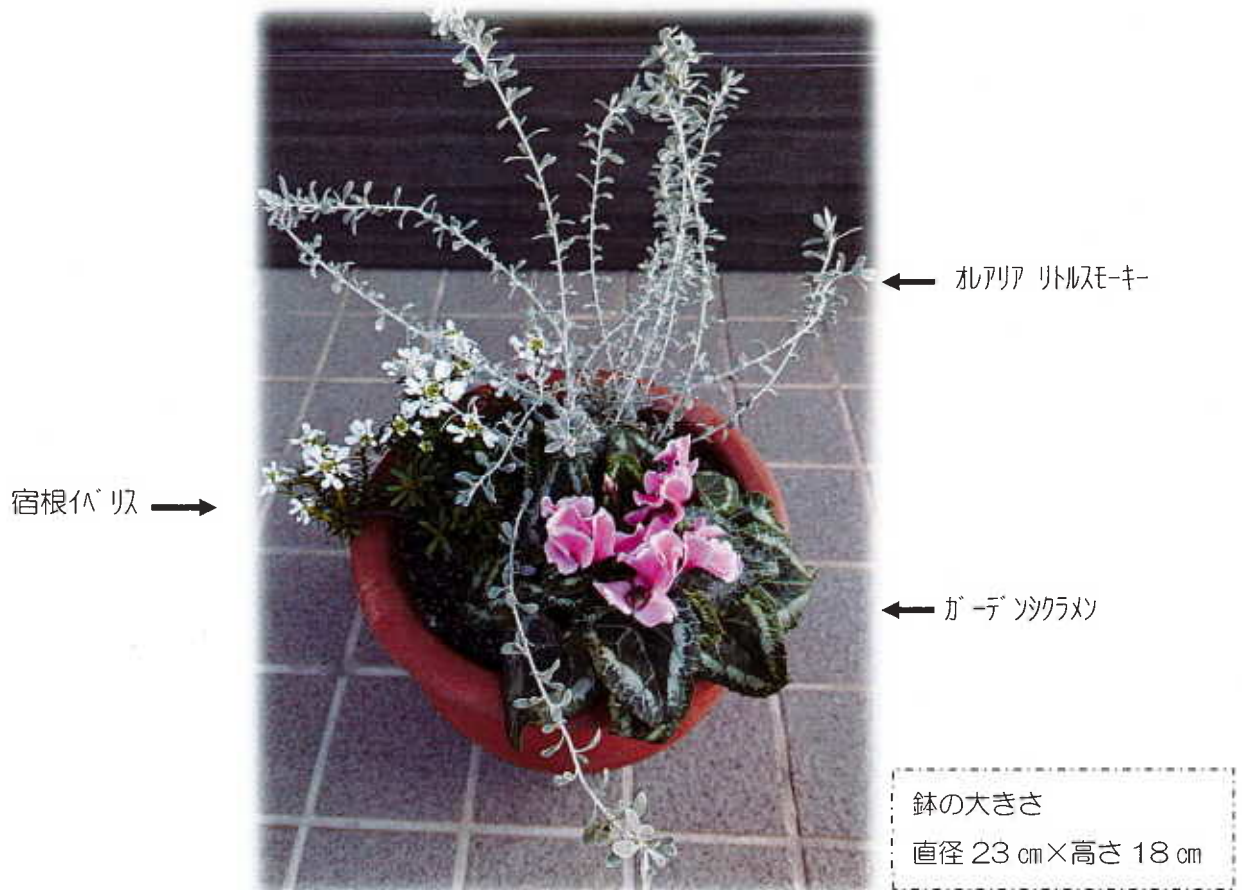


四季の寄せ植え 花材選びのヒント

ホームセンターなどで手軽に手に入る花材を使って、おうちで楽しめるシンプルな寄せ植えを作ってみましょう。

1 冬の寄せ植え～クリスマス・お正月に向けて～



花材：ガーデンシクラメン（サクラソウ科）	1ポット
宿根イベリス（アブラナ科）	1ポット
オレアリア リトルスモーキー（キク科）	1ポット

花材選びのポイント：

ホワイトクリスマスをイメージし、小さな寄せ植えを作ってみました。高さと動きがある枝に小さな白い葉を持つオレアリア、小さな白い花がまとまって咲く宿根イベリス、ガーデンシクラメンの葉にも白い斑が入っています。白を基調とした寄せ植えは、一般的におしゃれな印象になりますが、日差しが弱まるこの時期には、若干寂しく感じることも。そのため、あえてシクラメンは白とせず淡いピンク色を選びました。

管理のポイント：

日当たりのよい、霜のあたらない軒下において育てましょう。

水やりは、表面の土が乾いたら、鉢の下から水が流れ出るまでしっかり与えてください。花や葉には水がかからないよう、直接土に水やりをしてください。

ガーデンシクラメンの花がらは、適宜つみとりましょう。

ピオラ（紫系）



ロータス プリムストーン

ハボタン

ピオラ（オレンジ系）

鉢の大きさ

直径 30 cm×高さ 14 cm

花材：ハボタン（アブラナ科）	2鉢 計
ピオラ（スミレ科）	2鉢 計
ロータス プリムストーン（マメ科）	1鉢 計

花材選びのポイント：

クリームイエローの葉をもつロータス プリムストーンに、フリル咲でアンティークっぽいオレンジ色のピオラをあわせています。全体のトーンがぼやけるのを防ぐため、ボリュームのある赤のハボタンと紫のフリル咲きピオラで色目をしめました。

ハボタン、ピオラとも冬に花材にはなくてはならないものです。近年は、ユニークな形状のハボタン、珍しい花色のピオラなども出回っており、選ぶのに迷うほどです。

管理のポイント：

日当たりのよい霜のあたらない軒下において育てましょう。

水やりは、表面の土が乾いたら、コンテナの下から水が流れ出るまでしっかり与えます。

花や葉には水がかからないよう、直接土に水やりをしてください。

ピオラの花がらは、こまめにつみとりましょう。



花材：ハボタン プラチナケール（アブラナ科）	2ポット
スイートアリッサム（アブラナ科）	2ポット
アイビー（ウコギ科）	2ポット

花材選びのポイント：

ハボタン プラチナケールは、従来のハボタンのイメージを一新する、メタリックな光沢葉をもつ個性的な植物です。それに、寄せ植えの定番素材であるスイートアリッサムとアイビーをあわせました。

寄せ植えは、色の繰り返しを作ると、全体がまとまりやすくなります。この場合は、ハボタンとスイートアリッサムの紫色、斑入りアイビーとスイートアリッサムの白色を繰り返しています。

管理のポイント：

日当たりのよい霜のあたらない軒下において育てましょう。

水やりは、表面の土が乾いたら、コンテナの下から水が流れ出るまでしっかり与えます。花や葉には水がかからないよう、直接土に水やりをしてください。